

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(令和2年度事業分)

1 施設の概要

施設名	山梨県立飯田野球場	所管課	スポーツ振興局 スポーツ振興課
所在地	甲府市飯田5-11-1	設置年月日 (改築年月日等)	平成14年4月1日
管理方式	株式会社富士グリーンテック		
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立飯田野球場設置及び管理条例		
設置目的	野球の振興を図り、もって県民の心身の健全な発達に寄与するため		
主な施設内容 (定員等)	○敷地面積 14,973.25㎡ ○施設・設備の内容 ・野球場(左翼88m 中堅104m 右翼91m、内野:クレー舗装、外野:天然芝、13,732.30㎡) ・事務室(1階 43.45㎡) ・駐車場45台		
主な業務内容	(1)利用の承認に関する業務 (2)施設及び設備機器の維持保全に関する業務		

2 類似施設・近隣施設

名称 施設内容 利用状況等	山日YBS球場(野球場)、緑が丘スポーツ公園(野球場)、富士北麓公園(野球場)、都留市総合運動公園(野球場)、韮崎市営総合運動場(グラウンド)、南アルプスジットスタジアム(野球場)
---------------------	--

3 利用状況

単位:人、%

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度 (目標値)
利用者数	利用者数	28,765	25,589	15,422	20,000
	利用者数合計	28,765	25,589	15,422	20,000
	目標値	27,000	27,000	27,000	20,000
	目標値設定の考え方及びその理由	現状の利用傾向を勘案して設定。			
	対平成30年度比		89.0%	53.6%	69.5%
利用率		94人/日	91人/日	49人/日	55人/日

4 指定管理業務の収支状況

単位:円、%

		令和元年度 (実績値)	令和2年度 (計画値)	令和2年度 (実績値)	令和3年度 (計画値)
収入	施設利用料	822,790	800,000	776,525	800,000
	指定管理者委託料	7,911,000	7,925,000	7,925,000	7,935,000
	その他	194,668	130,000	75,484	130,000
	収入合計(A)	8,928,458	8,855,000	8,777,009	8,865,000
支出	人件費	5,943,232	5,724,000	5,931,025	5,724,000
	県への納付金				
	管理運営費	2,540,063	3,131,000	2,672,355	3,141,000
	うち外部委託費(B)	1,085,065	950,000	941,270	1,170,000
	支出合計(C)	8,483,295	8,855,000	8,603,380	8,865,000
収支差額(A-C)		445,163		173,629	
外部委託比率(B÷C)		12.8%	10.7%	10.9%	13.2%
利用者一人当たりの経費		309.2	293.5	513.9	396.8

5 利用者満足度(アンケート様式は別添のとおり)

実施方法等	実施時期:令和 2年 8月～9月 実施方法:施設利用者へのアンケート 回答数:107人
-------	---

単位:%

調査項目	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満
①施設設備の充実度	83.0%	9.0%	6.0%	2.0%
②施設整備の充実度	78.0%	17.0%	4.0%	1.0%
③利用予約・手続きの方法	92.0%	8.0%		
④利用料金	92.0%	7.0%	1.0%	
⑤職員の対応、サービス	97.0%	3.0%		
各項目の平均	88.4%	8.8%	3.7%	1.5%
施設全般の満足度	87.0%	13.0%		

利用者の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・芝の状態が非常に良い。 ・グラウンドが広くて使いやすい。 ・駐車場が狭い。 ・設備が古い。 ・トイレを近くに設置してほしい。
利用者の意見への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・グラウンドは本業である造園業等の専門性を生かし、グラウンドの整備、芝生の管理など適切な運営管理ができています。 ・駐車場については、球場の駐車場以上に駐車場所を要する場合には、主催者に対して隣接する施設の駐車場を借りるようお願いし、対応している。 ・観覧席(スタンド)については、令和2年度中に解体撤去工事を行い、対応済みである。 ・スコアボードについては、令和3年度中に、解体撤去を予定している。 ・今後も老朽化している各設備については、引き続き、県へ要望して対応してい

6 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	<p>法令、業務仕様書等に基づき、適正に業務を執行した。また、本業である造園業の知識を生かし、芝生管理の徹底に努めており、高い利用頻度に耐えうるグラウンドクオリティが確保できていると考えている。毎年同様に、冬期整備だけでなく中間でもスポーツトラクターを使用し大きな不陸の修正を行った。</p>	<p>維持管理については、事業報告書並びに現地確認の結果、適正に執行されている。</p> <p>引き続き、造園業の専門性を生かし、質の高いグラウンド整備など、適切な維持管理を行うこと。</p>
運営業務	<p>法令、業務仕様書等に基づき、適正に業務を執行した。</p> <p>休場期間には、利用者からの問い合わせの対応や、芝の管理などを行った。</p> <p>施設再開後も、新型コロナウイルス感染拡大防止のためのガイドラインに基づき、感染予防対策を講じた運営を行った。</p> <p>キャンセルが発生した場合は、速やかにホームページの利用予定に表示して、スムーズに新たな利用が受付できるよう体制を整えることができた。</p>	<p>施設運営については、事業報告書並びに現地確認の結果、適正に執行されている。</p> <p>新型コロナウイルスの影響により、休場期間もあったが、いつでも利用開始できるよう準備できていた。</p> <p>また、施設再開後もガイドラインに基づき、感染予防対策を適切に講じた運営業務ができています。</p> <p>引き続き、利用者からの問い合わせなどに迅速かつ丁寧に対応し、適切な運営業務を行うこと。</p>
利用状況	<p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため、休場期間があったが、利用者数の増加を目指し、年間を通して平日のグラウンドゴルフでの活用を積極的に図っており、必要に応じて休場日も開場するなどの臨機応変な対応をした。</p> <p>野球での利用人数が年々減少していく中においても、グラウンドゴルフの利用者数を増やすことで、利用者人数の確保に努めていきたい。</p>	<p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため、休場した期間もあったことや、主催者側で無観客での大会実施があり、例年に比べて利用者数が減少した。</p> <p>しかし、グラウンドゴルフとしての定期的な利用もあり、年間を通した利用率は高い状況である。</p> <p>引き続き、利用者サービスの向上を図り、利用促進に努めること。</p>
収支状況	<p>収入については、新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う施設の休場期間もあったが、HPの空き状況を速やかに更新することや、申込者への連絡を丁寧に行うなどの対応に努め、平日のグラウンドゴルフの利用の増加もあり、事業計画に近い利用料収入を得ることができた。</p> <p>支出については、燃料費や光熱水費を節約し、必要な修繕を実施した。</p>	<p>概ね収支計画どおり、執行されている。</p> <p>収入については、約2箇月間の休館期間があったこともあり、例年より減っているが、大きな減少とはならなかった。</p> <p>支出については、光熱水費などを削減し、経年劣化している設備等の修繕を積極的に行っている。</p> <p>引き続き、利用料収入の増加に向けた管理運営を行い、光熱水費などの経費削減を図りながら、健全な収支状況に努めること。</p>
自主事業	<p>計画のとおり、120名の参加者が集まり、グラウンドゴルフ大会を実施することができた。</p> <p>利用者のアンケート調査からも、高い満足度を得ることができた。</p> <p>参加者からも大変好評の事業のため、今後も継続して実施していきたい。</p>	<p>自主事業については、計画書のとおり業務が行われており、利用者からも高い評価を得ている。</p> <p>引き続き、参加者のニーズの把握に努め、高い満足度を得られる自主事業の実施に努めること。</p>

<p>利用者満足度</p>	<p>利用者アンケートの各設問において、高い評価を得ているものと考えている。今後とも利用者の意見を丁寧に聞き、改善できる点は順次行い、より一層のサービス向上に努める。 また、利用者から要望のある事項については、関係者等に協議するなど引き続き対応していきたい。</p>	<p>日々、丁寧なグラウンド整備、芝生管理を行うことにより、利用者から高い評価を得られている。 引き続き、利用者ニーズを的確に把握し、サービスの向上に必要なものを要望するなど、利用者の満足度の向上に努めること。</p>
<p>運営目標の達成状況</p>	<p>利用者数は目標の27,000人に対して、実績が15,422人であり、達成率は57.1%である。 また、試合数(大会、練習試合)についても、目標の40試合に対して、実績が27試合であり、達成率は67.5%にとどまり、どちらも目標を達成することができなかった。 この要因としては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4月と5月の約2箇月の休場期間があったことや、開場後も例年行われている野球大会が中止、または無観客だったことから、利用者数が大きく減少したものである。 今後も、野球の利用が少ない平日や冬期期間においては、グラウンドゴルフでの利用者を確保するなど、引き続き利用者数の確保につなげていきたいと考えている。</p>	
<p>施設所管課による総合的な評価及び指導事項</p>	<p>利用者アンケートでは高い評価を得ており、適切な維持管理や利用者への対応がなされている。 野球利用の少ない時期と時間帯にグラウンドゴルフの利用促進を図り、安定した利用者数の確保につながっている。引き続き、施設の有効利用や利用者サービスの向上に努めるとともに、適切な施設管理を図ること。 また、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策も適切に講じており、引き続き、利用者の安全確保に努めること。 今後も新型コロナウイルスの感染拡大が施設の運営に影響すると考えられるが、目標に掲げた利用者数を達成できるよう、利用促進に努めること。</p>	
<p>施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況</p>	<p>本業である造園土木業の中でも、グラウンドや緑地等造成芝関係においては、トップクラスの実績があるため、こうした専門性を生かしたグラウンドの整備や芝生の管理を行うことで、利用者目線による運営管理を行った。 施設休場中においては、施設再開に向けての設備の維持管理や、利用者からの問い合わせに丁寧な対応を実施した。 今後も新型コロナウイルス感染症の影響が続き、野球の大会等が無観客での開催となることが予想されるが、令和2年度以上の利用者数となるよう、引き続き周知等の徹底を行いたい。</p>	

7 管理体制(組織図)

令和2年4月1日現在

